



# 既存サービス

ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて、  
2017年度国内EMM市場でシェアNo.1※を獲得



※出典：ミック経済研究所 2018年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 2018年度版」より。

富士キメラ発刊の調査レポートにおいて、  
3年連続国内MDM・EMM市場でシェアNo.1※を獲得

ID数34.3% (+3.3%)、出荷総額37.0% (+7.5%) を達成



※出典：富士キメラ総研 2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」、2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」より。

テクノ・システム・リサーチ発刊の  
2018年の「モバイル管理市場」で、  
10部門中8部門でシェアNo.1※を達成



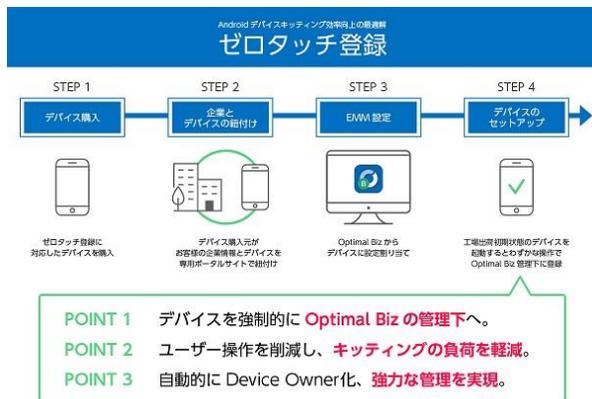
 Optimal Biz

2018-2019年版  
エンドポイント管理市場のマーケティング分析

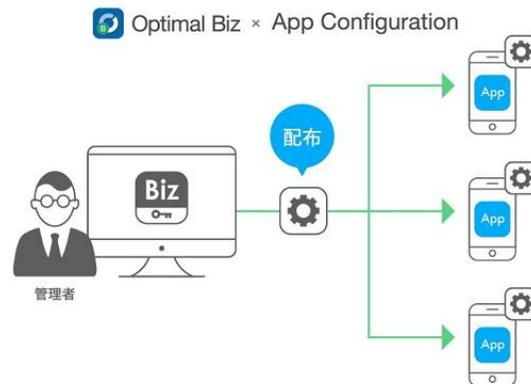
2018年モバイル管理市場  
**No.1** を獲得

※出典：テクノ・システム・リサーチ、2019年2月発刊、「2018-2019年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」、2018年「メーカーシェア 売上金額」、「メーカーシェア 出荷ライセンス数」、「提供方式別シェア - SaaS」、「ユーザー規模別シェア - 99人以下」、「ユーザー規模別シェア - 100~999人」、「ユーザー規模別シェア - 1,000~9,999人」、「ユーザー規模別シェア - 1万人以上」、「プロダクト/OEM別シェア OEM」実績値。

## Googleが提供する「ゼロタッチ登録」機能に対応し、Android端末のキッティング効率が大幅に向上



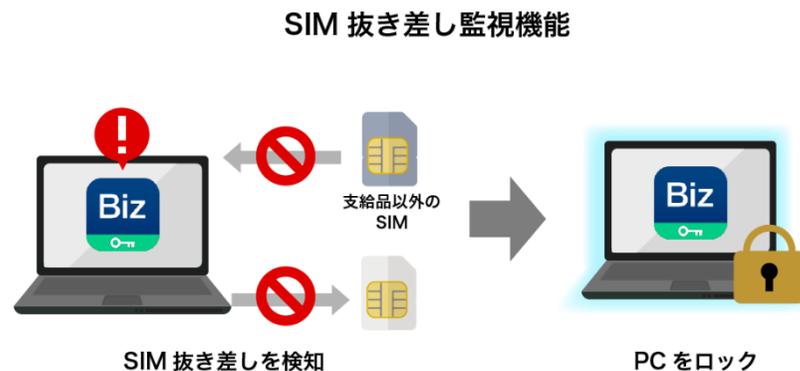
## ビジネスコミュニケーションツール「LINE WORKS」と連携可能に



## 指定した時間や場所に応じて端末設定を変更する機能「Zone Management」、Windowsのアプリケーション禁止に対応



## 国内で初めてWindows端末での「SIM抜き差し監視機能」を提供





## JICAが行う、「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」に、遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」が採択



|      |  |
|------|--|
| 対象国  | インドネシア国  |
| 事業名  | 遠隔作業支援サービス普及促進事業   |
| 事業概要 | インドネシア・ゴロンタロ州ボアレモ県農業局を対象に、現地での「Optimal Second Sight」の設置・導入によるデモンストレーションやワークショップ開催、本邦での農業xITを含めた現場視察等を通じて、遠隔作業支援サービス技術の理解促進を図り導入を目指すもの。 |

## エプソンアメリカが設立したソリューションプロバイダープログラム、「MOVERIO Solution Provider」に日本企業として初参加

**OPTiM<sup>®</sup>**

OPTiM solves common workplace problems, including being unable to give comprehensive remote support because the work site is not visible through phone or email communication, or the high costs of going to distant work sites to give support in person.

シーズ・ファクトリーと業務提携  
高級時計バイヤーズガイド「POWER  
Watch」などを提供開始



旅行情報誌「じゃらん」の提供開始  
“旬”で“お得”な宿やレジャー情報などのお  
出かけ情報が満載



店舗向け雑誌読み放題サービス  
「DoMAGAZINE」の提供開始  
1歩先行く“おもてなし”と“お店づくり”  
の実現へ



日本唯一の週刊デジタル情報誌  
「週刊アスキー」をはじめ、16誌を提供を開始



KADOKAWA より  
**週刊アスキー** ほか  
計**16**誌を追加  
人気雑誌 **900** 誌以上  
読み放題 **タブホ**

TOKAIコミュニケーションズが提供するモバイルサービス  
「LIBMO」にて提供開始

今どき雑誌は「スマホ」「タブレット」で読み放題



**LIBMO**  
×  
**タブホ**  
国内最大級の  
雑誌読み放題  
サービス



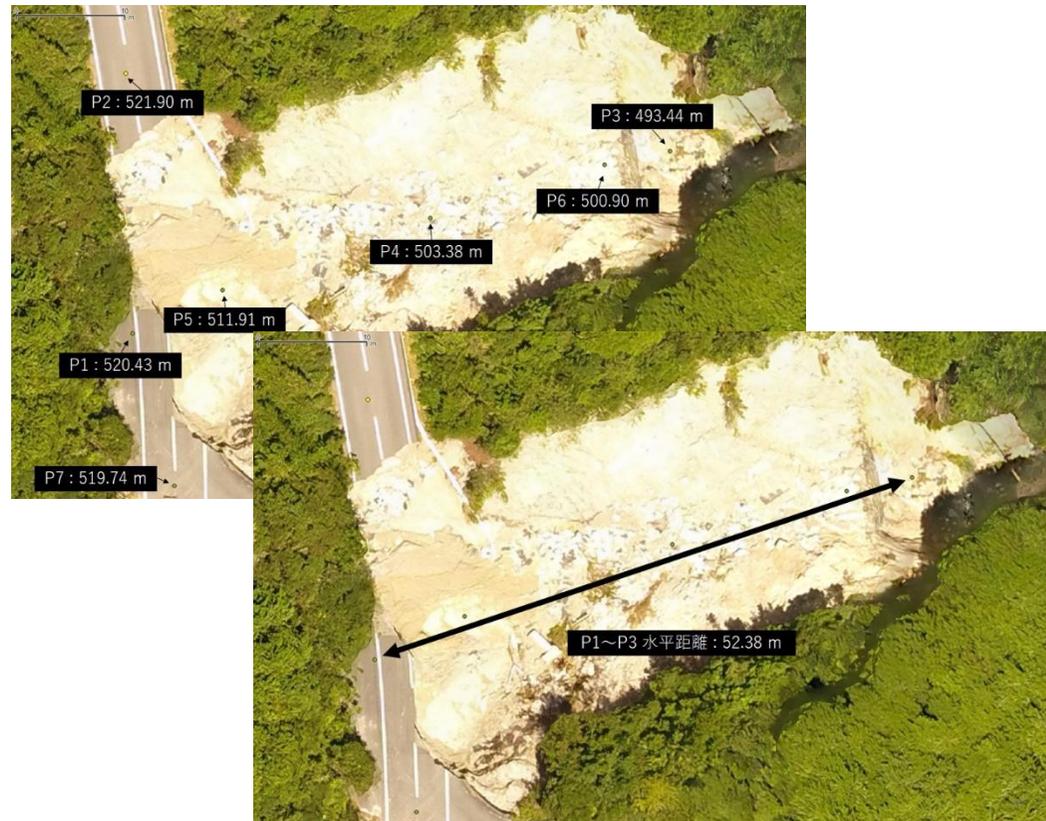
その他

「平成30年7月豪雨」の災害支援として、  
「健康相談ポケットドクター」を利用した  
医師のオンライン健康相談を無償で実施



オプティム、ランドログ、コマツ「平成30年7月豪雨」の災害支援として、被災状況の把握を目的としたドローン測量を無償で実施

コマツの「EverydayDrone」と  
オプティムの「DRONE CONNECT」を活用





# 2020年3月期（第20期）業績予想



第4次産業革命の中心的な企業を目指して



# 〇〇×IT戦略に対する投資継続

前期までは順調に進捗  
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得  
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

## 研究開発投資推移イメージ

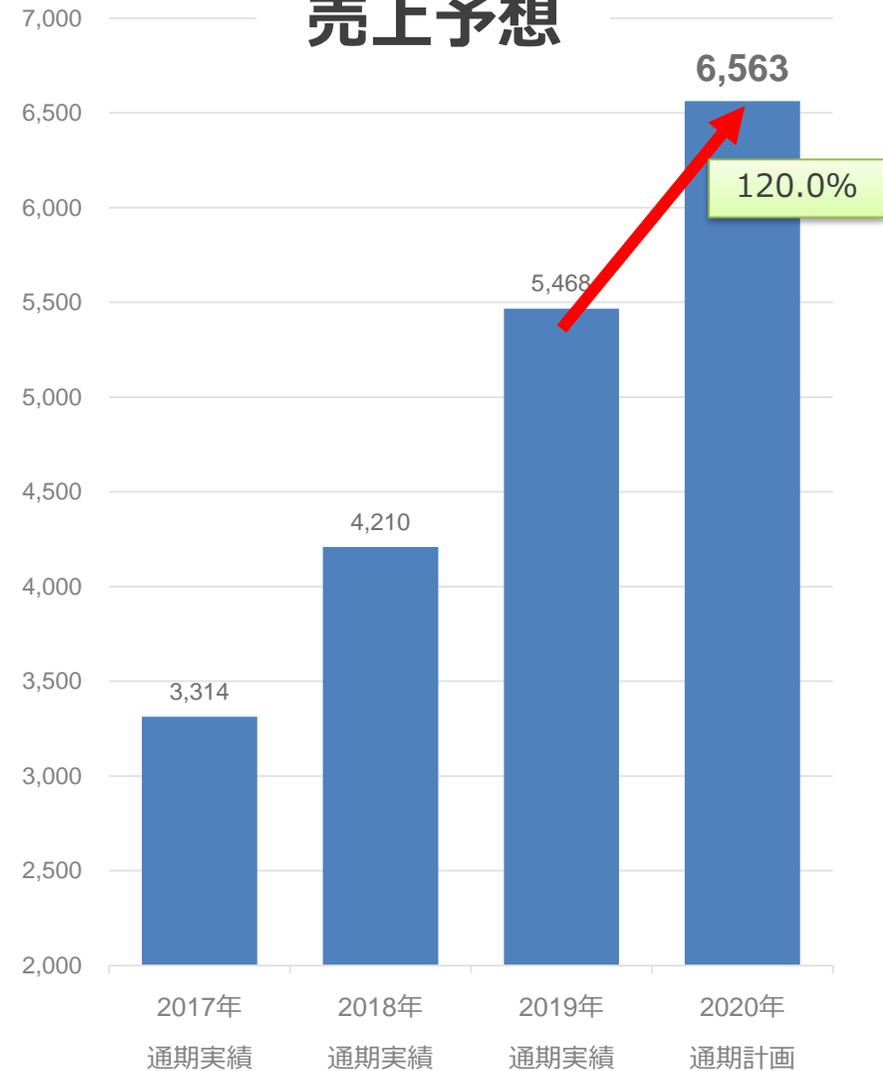




2020年3月期の業績は、  
**創業来20期連続**となる  
 過去最高売上高を目指します。

既存サービスの安定した成長と新規サービスを  
 保守的に見積もることで、売上65.6億円  
 （前年比売上高120.0%）は達成可能な見通し

### 売上予想



前年比

(単位：百万円)



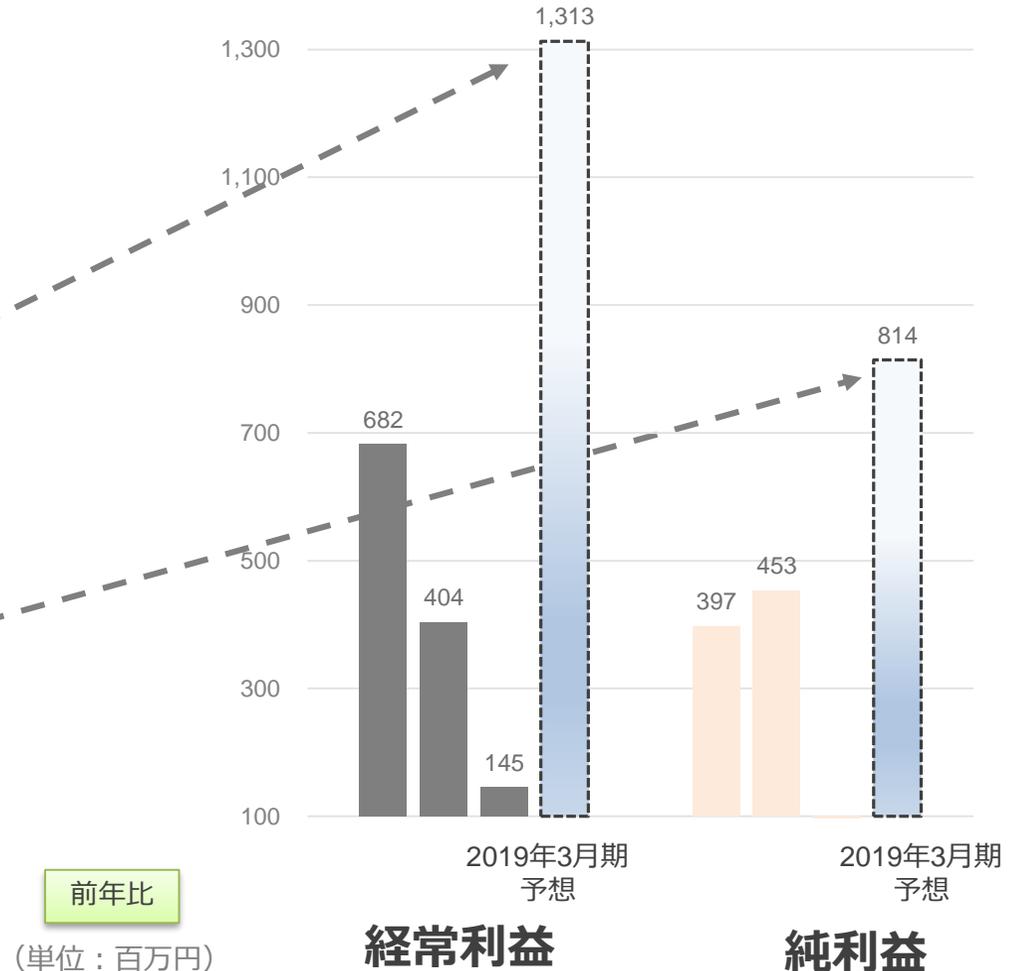
第4次産業革命の中心的企業になるべく  
AI・IoT・Robotics分野に  
柔軟かつ積極的な投資を行います

そのため今期も前期に引き続き、  
レンジ形式による経常利益・純利益  
予想を採用します

2020年3月期  
経常利益13.13億円~100万円  
純利益8.14億円~0万円  
の範囲で計画

利益がマイナスにならない範囲において、  
研究開発への積極投資を実施  
進捗が分かり次第速やかに開示

過去3カ年実績利益推移、  
及び、2020年3月期予想





- 2020年3月期の業績は、創業来20期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長と新規サービスを保守的に見積もることで、売上65.6億円（前年比売上高120.0%）は達成可能な見通しです。
  - 当社が展開する市場は堅調に拡大を続けており、その市場のなかでの当社の位置づけも優位な状況であることは変わっておりません。来期においても例年通りの成長投資をかけることを前提とすると、**既存サービス及び「OPTiM Cloud IoT OS」とその関連サービスの売上を保守的に見積もることで売上は、前期比で20%程度の成長率、営業利益・経常利益については、対売上比で20%程度はそれぞれ見積もることが出来る状況となっております。**
  - ここ数年「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるべくAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりましたが、**2020年3月期においても、2019年3月期同様、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において、研究開発への積極投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、仕上げに向けた1年としていきたいと考えております。具体的には、ここ数年取り組んでまいりました、各業界・産業とITを融合させる「○○×IT」によりITの力で業界・産業基盤を再構築する取り組みを引き続き推進してまいります。**
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。

**OPTiM**

[www.optim.co.jp](http://www.optim.co.jp)